

リモコン 工事説明書

特に注意していただきたいこと

●ここに示した「△注意」には次の意味があります。



注意 この表示を無視して作業を誤った場合に、作業員またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



一般的な禁止



- リモコンを正しく、安全にご使用いただくためにこの「工事説明書」をよくお読みの上、指定された工事を行ってください。
- 作業時は手袋などの保護具を着用してください。けがの原因になります。

- 機器とリモコンの接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備に関する技術基準に従って工事を行ってください。
- リモコンコードは接続する機器の電源が入っていない状態で接続してください。
- この工事説明書は工事終了後、取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しく下さい。

付属品の確認

●梱包されている付属品に不足がないことを確認してください。

リモコン	オールプラグ(2個)	タッピンねじ(2本)	コードクリップ(大)(※)
			※機器との接続時に使用します。
コードクリップ(中)(※)	取扱説明書	工事説明書(本紙)	

別売部品

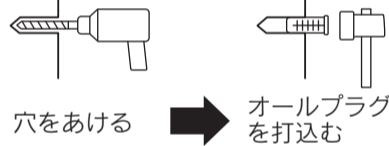
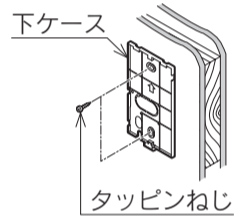
- リモコンコード

リモコンの取付け

リモコン取付け上の注意

- 防水タイプではありませんので、浴室など湿気の多い場所には取付けないでください。
- リモコンはお手入れできるように周囲の壁などから充分離して取付けてください。
- ガステーブル・こんろなどの燃焼器具の上部には絶対に取付けないでください。
電気部品の故障・外装の変形の原因になります。
- 炊飯器・電気ポットなどの蒸気・水滴、しゃ口からの水しぶきがかかる場所には取付けないでください。
- 直射日光のあたる場所には取付けないでください。
- 幼児の手が届くところには取付けないでください。
- 業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所に取付けないでください。
- 通信および表示不良の原因になりますので、リモコンコードの長さが20m以内になる場所に設置してください。
20mを超えるときは動作保証できません。
- リモコンコードは熱の影響を直接受けないところに配線してください。
- リモコンコードをコンクリート・壁などに埋め込むときは必ず電線管などを使用してコードを傷つけないようにしてください。
- 端子への接続時に無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。
- リモコンコードは途中で分岐したり、リモコンからリモコンへ渡り配線をしたりしないでください。
- リモコンの表面パネルには保護フィルムが貼ってあります。工事完了後は必ずはがしてください。

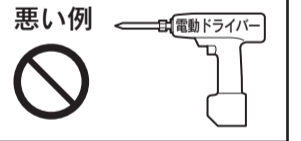
2. リモコンの下ケースを壁に固定します。
壁の丈夫な場所(柱など)にリモコンの下ケースを付属のタッピンねじ(2本)で直接固定してください。
・ねじを強く締め付けすぎるとねじ穴の破損やリモコンの下ケースが変形してリモコンが取付けられなくなることがあります。
※タイル・コンクリート・モルタルなどの壁にリモコン下ケースをタッピンねじで固定する場合は、付属のオールプラグを打込んでください。



下穴径	穴深さ
6mm	30mm

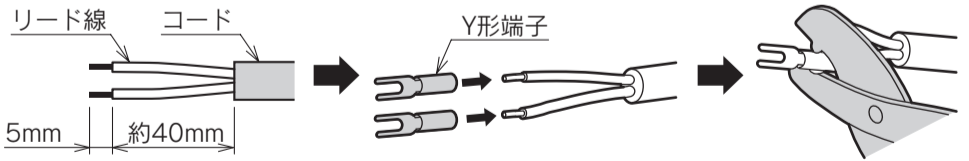
※石膏ボードなどの強度のない壁に固定する場合は、市販のボード用アンカーを使用して確実に固定してください。
(下穴径や穴深さはボード用アンカーの説明書に従ってください。)

3. リモコンにリモコンコードを接続します。
・端子への接続時に無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。
・電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがあります。
・リモコンコードは無極性ですので、+はありません。

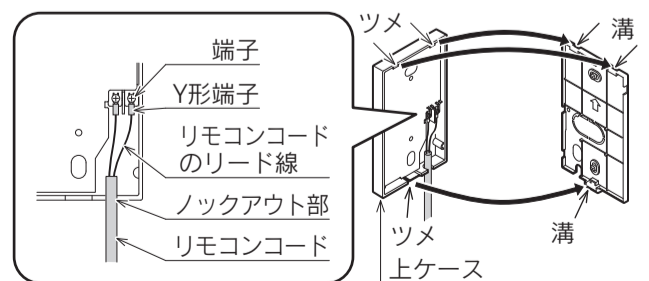


既設または市販のリモコンコードを使用する場合

- 被覆部が固くなったリモコンコードは新しいものに交換してください。
 - 直径2mm以上のリード線をリモコン内に入れないでください。
 - 多心(6心コードなど)のリモコンコードを使うときは、接続しないリード線をリモコン内に入れないでください。
 - 市販のコードはVCTF0.5mm² 2心を使用してください。
1. 図を参考にコードの皮むきをし、リード線の被覆を約5mm取り除きます。
 2. リード線の先端をY形端子(現地手配)に差し込んでカシメ工具でかします。



リモコン下部のノックアウト部を切り取り、図のようにY形端子を端子にしっかりと接続してください。

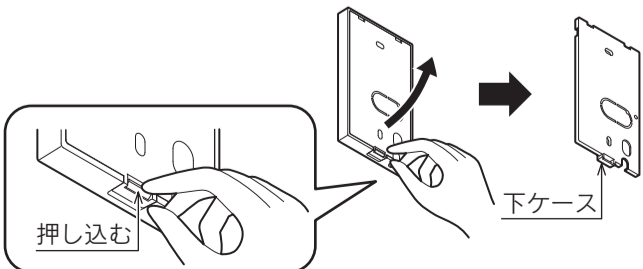


4. リモコンを取付けます。
リモコンの上ケースの上部ツメ2箇所を下ケースの溝に合わせてから、下部のツメを固定してください。
5. リモコンの固定状態を確認します。

リモコンの取付け

露出配線の場合

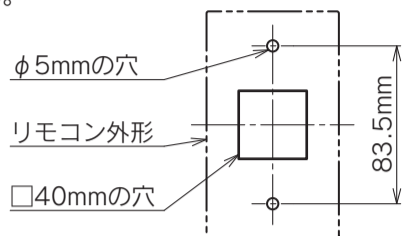
1. リモコン下部のツメを押し込みながら、リモコンの下ケースを上を持ち上げてはずします。



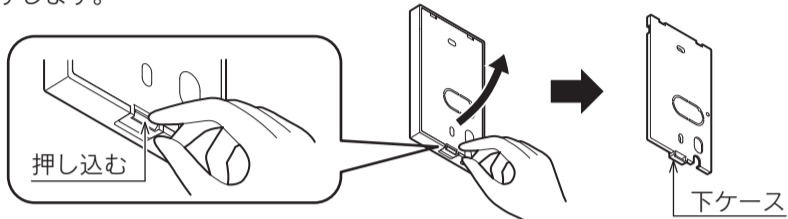
リモコンの取付け

埋め込み配線の場合

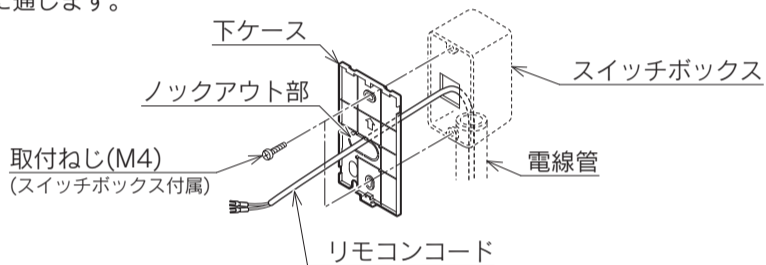
- 事前にリモコン取付位置の壁内部に電線管を通してスイッチボックスを設置してください。
- リモコン取付位置に□40mmの穴と、取付ねじ用のφ5mmの穴(2箇所)をあけてください。
※取付ねじ用の穴をあけるときは、スイッチボックスのねじ穴を傷めないように注意してください。



1. リモコン下部のツメを押し込みながら、リモコンの下ケースを上を持ち上げてはずします。

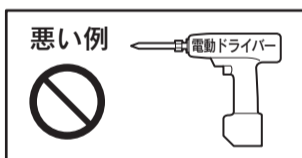


2. リモコンの下ケースのノックアウト部を、ニッパーなどの工具を使用して切取ります。
3. リモコンコードを壁穴から引き出して、リモコンの下ケースのノックアウト部に通します。



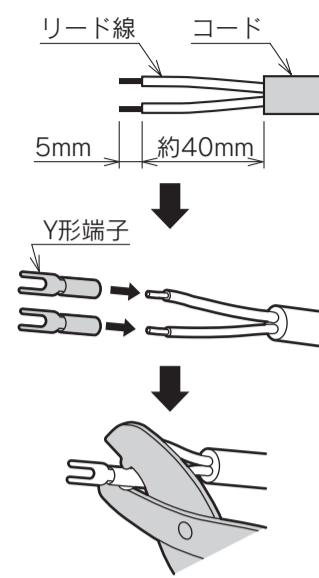
4. リモコンの下ケースを壁に固定します。
スイッチボックス付属の取付ねじ(M4)で固定してください。
・ねじを強く締めすぎるとリモコンの下ケースが変形するおそれがありますので注意してください。

5. リモコンにリモコンコードを接続します。
・端子への接続時に無理な力を加えて基板を傷つけないように注意してください。
・電動ドライバーは絶対に使用しないでください。端子のねじ穴が破損して接触不良を起こすおそれがあります。
・リモコンコードは無極性ですので、+-はありません。



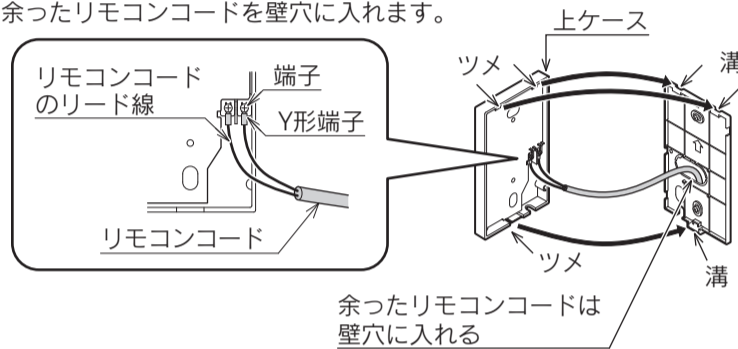
既設または市販のリモコンコードを使用する場合

- 被覆部が固くなったリモコンコードは新しいものに交換してください。
- 直径2mm以上のリード線をリモコン内に入れないでください。
- 多心(6心コードなど)のリモコンコードを使うときは、接続しないリード線をリモコン内に入れないでください。
- 市販のコードはVCTF0.5mm² 2心を使用してください。



1. 図を参考にコードの皮むきをし、リード線の被覆を約5mm切取ります。
2. リード線の先端をY形端子(現地手配)に差し込んでカシメ工具でかします。

- (1) リモコンの下ケースから引き出したリモコンコードのY形端子をリモコンの端子にしっかりと接続します。
- (2) 余ったリモコンコードを壁穴に入れます。

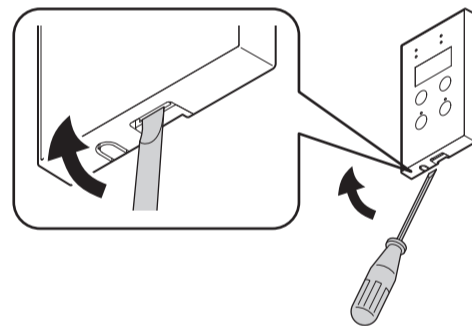


6. リモコンを取付けます。
リモコンの上ケースの上部ツメ2箇所を下ケースの溝に合わせてから、下部のツメを固定します。
・余ったリモコンコードがリモコンの上ケースと下ケースの間にはさまった状態で無理にケースをとめないでください。故障の原因になります。

7. リモコンの固定状態を確認します。

リモコンを取りはずす場合

- リモコン下部の溝にマイナスドライバーの先を引掛け、手前側に倒し上ケースをはずしてください。

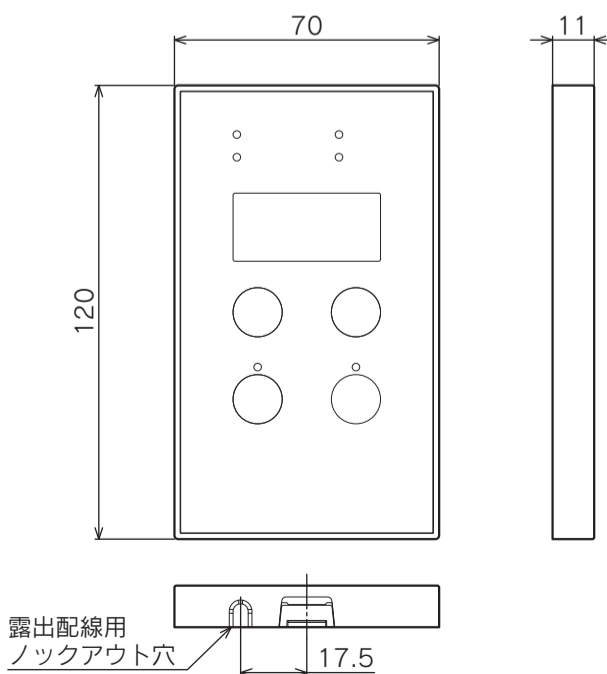
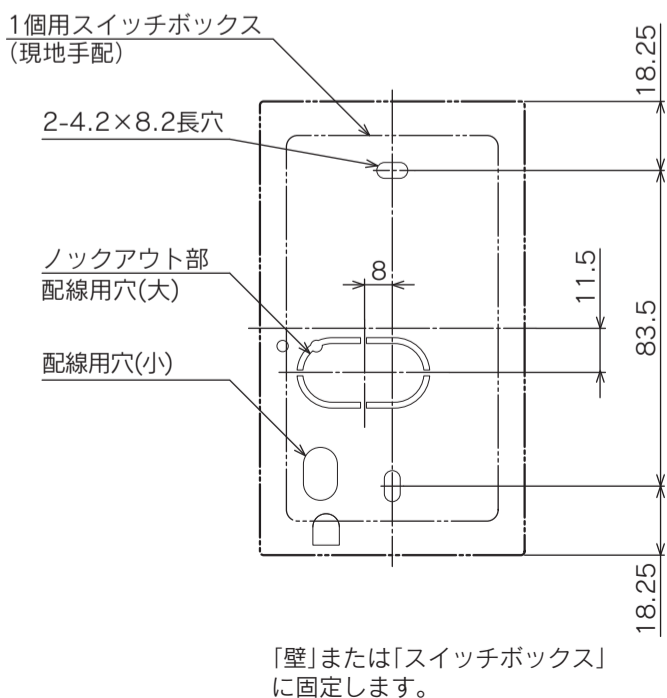


機器との接続

- 機器との接続は機器付属の「工事説明書」を参照してください。

外形寸法図

※スイッチ、ランプの数はリモコンにより異なります。



(単位: mm)